

20th Symp. & 34th WS

第20回医学生物学電子顕微鏡シンポジウム
合同企画 第34回医学生物学電子顕微鏡技術研修会および総会

- ◆会期：2022年9月24日（土） 11：45～16：40
11：45～12：45 第18回社員総会（第35回評議員会）
- ◆会場：ZOOMによるオンライン形式

20th Symp. テーマ “かなり役立つ” 電子顕微鏡観察の魅力

教育講演 澤口 朗 先生 宮崎大学医学部解剖学講座超微形態科学分野 教授

「デスクトップ型低真空走査電顕の特性を活かしたパラフィン切片立体構造解析と
新たな金ナノ粒子免疫標識法開発と未知なる可能性」

34th W.S. テーマ 目的に応じた電子顕微鏡試料作製プロトコールの紹介
- 特殊装置を用いない “この方法” で分かること -

- ◆淡水産の微小生物 / SEM
「淡水産の微小生物（原生生物・藻類・小型動物）のSEM観察のための試料作製法について（仮）」
石田 秀樹 先生（島根大学学術研究院農生命科学系准教授）
- ◆菌類 子実体（キノコ） / TEM・SEM
「キノコの電子顕微鏡観察のための試料作製法」
尾崎 佑磨 先生（鳥取大学農学部）
- ◆真菌類（酵母） / TEM・SEM
「酵母細胞の試料前処理とTEM/SEM観察法」
許斐 麻美 先生（株日立ハイテック）
- ◆動物組織 / TEM・SEM
「ラット骨格筋の神経筋接合部と
運動終板の電顕観察」
佐々木千鶴子 先生
（聖マリアンナ医科大学）
- ◆動物組織（両生類） / SEM-BSE
「免疫組織化学による交感神経および
副腎細胞の染色と同定：
マウス胚とサンショウウオを用いて」
村嶋 亜紀 先生
（岩手医科大学解剖学講座人体発生学分野）



『電顕110』 16：10～16：40（参加者限定・事前申し込み 先着10名）
困った～！ 解らな～い？ こんなお悩み解決コーナー



- ◆参加費 正会員2000円、非会員2500円、大学院生1500円
- ◆参加登録専用アドレス：<https://forms.gle/Ktu7FE6h5AraXMpd5>
- ◆お問合せ先アドレス：20sympo@emtech.jp

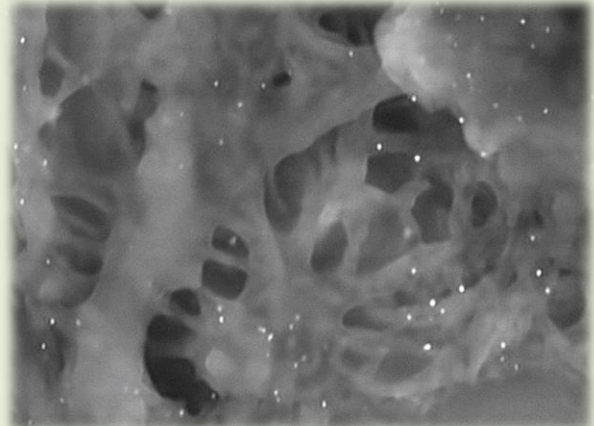
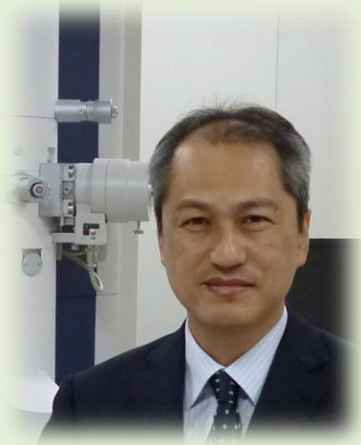
<http://emtech.jp> 主催：社）医学生物学電子顕微鏡技術学会



第20回医学生物学電子顕微鏡シンポジウム

◆会期：2022年9月24日（土） 13:10~14:40
◆会場：ZOOMによるオンライン形式

20th Symp. テーマ “かなり役立つ” 電子顕微鏡観察の魅力



「新たな金ナノ粒子標識法」抗synaptodin抗体/DAB標識。ラット腎臓糸球体足突起に金ナノ粒子形成（澤口先生ご提供）

教育講演 **澤口 朗** 先生 宮崎大学 医学部 解剖学講座 超微形態科学分野 教授

ご講演要旨

ブラックジャックと
ラグビーを愛する研究者 澤口 先生
命と向き合おう
新たな治療法の開発につながるべく
電顕解析へ挑戦をし続けておられます。
今回は、次のご講演を頂けます。
待遠しく、ワクワクしますね。

『 デスクトップ型低真空走査電顕の特性を活かした パラフィン切片立体構造解析 と 新たな金ナノ粒子免疫標識法開発と未知なる可能性 』

本講演では、第一部としてスライドガラスに載せた光顕用切片を帯電防止処理なく観察できる低真空走査電子顕微鏡の特性を活かし、生体組織の微細構造を立体的に捉える「厚切り切片観察法」をご紹介します。

続く第二部では、厚切り切片観察法をもとに生体物質の局在を高精細に可視化する「新たな金ナノ粒子標識法」の開発経緯と研究成果について解説し、医学生物学の幅広い研究領域で応用が期待される“デスクトップ型低真空走査電子顕微鏡”を用いた生体構造解析に秘められた無限の可能性を共有します。